



梅雨に入り、雨の日が多くなってきています。ベタベタするし、外には出られないし、雨は嫌いという人もいます。でもちょっと目先を変えると、いろいろなところに落ちる雨の音は、自然がつくるBGMのよう。癒しの時間にするのもいいですね。その分、晴れた日は思いっきりからだを動かしましょう。

麻疹に注意！！

保健室 からの お知らせ



5/23 現在、麻疹の報告が12都道府県で162件報告されています。まだ愛媛県での報告はありませんが、**麻疹は非常に感染力の強い病気**なので、いつ報告があっても不思議ではありません。麻疹は**2回のワクチン接種でほぼ確実に防げます**ので、まだ2回接種をしていない人は、できるだけ早期に受けてください。ワクチン接種を受けたかどうか不明な人は、病院で抗体検査をすることもできます。ただし、抗体検査も接種料金に近い費用が掛かりますので、費用についてはかかりつけ医にご相談ください。

麻疹とは？

ウイルスに感染

潜伏期
(約10日間)

カタル期
(2~4日)

発しん期
(3~4日)

回復期

麻疹ウイルスの感染後、10日から12日間の潜伏期ののち、38度前後の熱やカタル症状(咳、鼻水など)から咳などの症状が現れ、2日から4日続きます。その後、39度を超える高熱と発しんが出現します。発しんの出現する1日から2日前には、頬の粘膜(口のなかの頬の裏側)にやや隆起した1mm程度の白色の小さな斑点(コプリック斑)が出現します。

合併症を引き起こさなければ、7日から10日後には回復しますが、免疫力が低下するため、しばらくは他の感染症に罹りやすく、また、体力等が戻ってくるには1ヶ月程度を要することもあります。

・38℃前後の発熱、倦怠感
・咳・鼻水等の上気道炎症状
・結膜炎症状
・口腔内粘膜に灰白色の小斑点(コプリック斑)が現れる

・39.5℃を超える高熱
・点状~小豆大の赤い発しんが頭部から全身に広がる

*肺炎、脳炎などの合併症を引き起こすこともある

↑
感染力がある期間
↓

【6月の保健行事】

	時間	項目	注意事項等
6月5日(火)	9:00~	歯科検診(2,3年生)	*朝しっかり歯を磨いてくる。
6月6日(水)	9:00~	歯科検診(1年生)	*朝しっかり歯を磨いてくる。

歯周病に注意

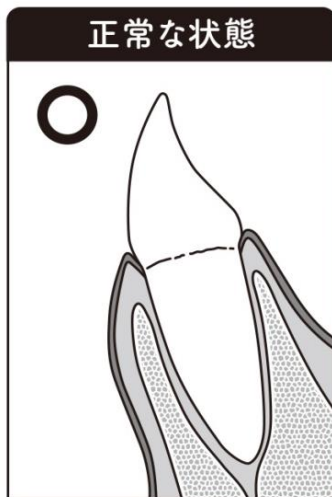
例年、今工生は全国平均と比べると、虫歯は少ないが、歯周疾患は多い傾向にあります。

世界中での患者数第1位、日本人が歯を失う理由も第1位。それが「歯周病」です。初期では痛みを感じる事があまりなく、見た目にもそれほど大きな変化がないので見過ごされがちですが、本当はとてもこわい病気。健康な歯と歯ぐきを自分たちで守るために、歯周病を知ってください。

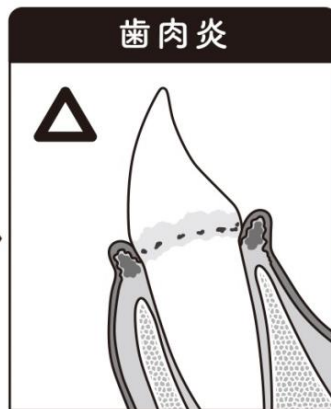
歯周病とは？

歯周病には、大きく分けて「歯肉炎」と「歯周炎」があります

細菌感染によって、歯を支える歯周組織(歯ぐきや骨)が壊される病気です



正常な状態
歯ぐきの内側では、歯の根の表面(セメント質)と歯槽骨とが繊維でしっかり繋がれています。



歯肉炎
歯周病の初期段階。歯と歯ぐきの境目が赤く腫れて、歯周ポケットができます。歯みがきで出血します。まだ歯槽骨は破壊されていません。



歯周炎
症状が進行して、歯を支える繊維や骨が壊されます。放置すると破壊が進行し、歯がぐらぐらして、最悪、抜けてしまうことも。

豆知識

歯周病

×



口は体の入口です

歯周病 × 体の病気

口内には無数の菌がいます。この菌が歯周病で壊れた歯ぐきから血管に入り込んで、口の中以外の病気にも影響するという報告があります。中でも、糖尿病は研究が進んでいて、歯周病と深く関係することが明らかになってきています。

歯周病とタバコの危険なタッグ

歯周病 × タバコ

タバコを吸う人は、吸わない人より歯周病になりやすく、悪化させやすいと言われています。タバコの成分が歯ぐきの表面を硬くして初期症状の歯ぐきの腫れを隠し、発見をじゃまします。せっかく治療を始めても、治りが悪いというデータもあります。